

平成十八年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「冬」

期間 平成十八年十一月一日～平成十九年一月末

投句数 一、八二五句

特選三句

天

折れてなほ三百年の冬ざくら

東京都杉並区 深津瑩子

地

除夜の鐘百一までには聞きにけり

埼玉県比企郡 篠澤道行

人

逗子葉山海を庭とし初句会

神奈川県鎌倉市 松本淑子

入選句

一般の部

不器用に生きてきしかな冬木立

神奈川県横浜市

葭谷健一

龍之介年譜に冬灯淡かりし

神奈川県茅ヶ崎市

深瀬和子

吹き晴るる富士ゆるぎなき今朝の冬

神奈川県横浜市

志摩あき

神官の持つは重藤弓始

埼玉県狭山市

古谷彰宏

勝ち組に入る決意の破魔矢受く

神奈川県鎌倉市

大谷直吉

大寒も緩びし日あり古道ゆく

神奈川県逗子市

佐藤信子

鎌倉に大仏おわす余寒かな

東京都八王子市

小池拓夫

鎌倉の寒き流すや滑川

神奈川県横浜市

山下省三

良き日和爺が子守りの師走かな

神奈川県鎌倉市

友成節子

満員の江ノ電で聴く除夜の鐘

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

おんめさま日ごと膨らむ冬木の芽

神奈川県鎌倉市

細川英香

漱石忌夢窓国師の庭に佇つ

神奈川県大和市

吉川美智子

羽搏きの一羽見張りに浮寝鳥

岩手県北上市

下田榮一

白足袋の北鎌倉の尼僧かな

神奈川県横浜市

鈴木基之

方丈の障子がしんと冬桜

富山県富山市

中井まる子

瀬音して鎌倉谷戸の落葉道

神奈川県鎌倉市

長尾愛

鎌倉は海より明けし大旦漣

神奈川県鎌倉市

萩野英利

ふくよかな白衣観音初御空

埼玉県さいたま市

加藤智子

二岬海を抱きて冬凧げる

神奈川県鎌倉市

山内愛子

甲羅干す亀の親子の小春かな

神奈川県藤沢市

藤井健

(順不同)

入選句

子どもの部

枯葉ふみはじめて歩く八幡宮

栃木県塩谷郡

菊地永里香

大仏は冬の寒さも大じょうぶ

栃木県塩谷郡

阿部稔史

ふゆやすみもいちどきたいなかまくらに

神奈川県横浜市

高橋洋樹

ふゆもみじはせでらとあいしんぴてき

神奈川県横浜市

出月拓水

鎌倉の静かな町のふゆもみじ

神奈川県横浜市

石渡亮佑

人力車七五三でにぎわうな

埼玉県熊谷市

井上悠大

除夜の鐘心を洗う音色かな

栃木県塩谷郡

松本和也

はらはらとただはらはらと落ち葉かな

東京都武蔵野市

佐野由佳

ふゆの日にりすがとびとびげんきだな

茨城県水戸市

岩間英賢

冬紅葉トンネルみたいを迎えてる

神奈川県横浜市

橋本優子

(順不同)